

【様式1】

<p align="center">市議会における政策提案とその対策等 〔議案質疑・<u>一般質問</u>委員会〕</p>					
担当課	環境政策課	議員名	盛 泰子 議員	提案月	R5.12
<p>〔提案事項〕</p> <p>ごみの分別方法等の情報を、市民が簡単に入手できる専用アプリの導入について検討してほしい。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>一般質問の中で、盛議員から嬉野市が導入している専用アプリ「ゴミ丸」の紹介があり、本市でも市民の利便性を踏まえ専用アプリの導入ができないか検討してほしいと提案がなされた。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>12月議会一般質問終了後、嬉野市が導入している専用アプリ「ゴミ丸」について嬉野市の担当者に聞き取りを行った。</p> <p>また、実際にゴミ丸を利用し検証を行った。LINE 公式アプリで地域を指定登録することで、登録後はごみに関する情報が LINE で送られてくる。LINE トークから質問すれば即座に回答を受けることができ、単に市のホームページで情報を得るより、利便性は高いと感じた。</p> <p>【聞き取り内容】</p> <p>「ゴミ丸」の運営会社は、愛知県豊橋市に本社がある株式会社 Shaxware（シャックスウェア）で、導入・運営に係る経費は、それぞれ初期費用 330 千円、月額費用 22 千円である。アプリの導入にあたっては、市側で情報を整理し株式会社 Shaxware へ提供しなければならない。</p> <p>嬉野市は、令和 5 年 7 月 24 日に株式会社 Shaxware と DX に関する連携協定を締結し、その日から「ゴミ丸」の利用を開始している。人口 5 万人未満の市町は、通常必要となる初期費用及び月額費用は無料で利用できるため、嬉野市は導入・運営に関して経費は掛かっていない。担当者からは、導入したことでごみに関する問い合わせが減少した訳ではなく、現時点で効果は分からないとのことだった。（嬉野市人口 5 万人未満）</p> <p>※「ゴミ丸」導入実績は、嬉野市のほか、豊橋市、神戸市の全国で 3 市。（12 月末現在）</p>					
<p>〔対応状況・令和 5 年 12 月末現在 検討中〕</p> <p>嬉野市の聞き取りから、「ゴミ丸」を導入してもごみに関する問い合わせは減少していないこと、また、「ゴミ丸」以外にも多数のアプリがあり、サービス内容や経費等も異なることから、導入の必要性について研究が必要である。</p>					